

# フェスタに参加して

初めて参加したフェスタについて思い浮かぶ言葉は、「勉強尽し」の一言です。三星先生が、フェスタに参加することも勉強の一つ、と仰っていました。確かにその通りでした。初めての参加に不安もありましたが、良い経験でした。テーマは「各国の好まれる色、好まれない色」です。このテーマは、私にとって非常に難しいものでした。何故ならば、データは取れても、それを裏付ける正確な理由がないからです。例えば、日本では一番好まれる色は青色というデータがありますが、文化的背景などから考察しても、何故好まれるのかという明確な理由は無いのです。そのため、色に対する印象やイメージ、または国旗に含まれている色がどのような意味を示しているかなどから調べることになりました。



人間科学科3年 三星宗雄ゼミナール所属 児沢 早苗

フェスタまでの準備期間は約1ヶ月と短いものでした。同じグループのメンバーと話し合う機会も少なく、十分な話し合いは出来なかったと思います。しかし、話し合うことで他のメンバーから何かを学べたりと、ただ講義を受けるときとは違う学び方を出来たのではないかと思います。

フェスタの前日準備日では、先輩方に圧倒されたと言ってしまうかもしれません。すぐに準備に取り掛かる様子は、前々から十分に研究し、計画し、準備し続けてきたのだと思わせました。先輩方の研究内容は興味深く、とても勉強になるものばかりでした。特に、今回私たちが研究したテーマにも関係してくる研究内容もあり、私たちが調べ切れなかったところまで研究され、とても興味深かったです。また、こういった発想もあるのかと感心させられたり、色彩心

理学という研究分野に沿い視覚的にも楽しめるものばかりで、自分の興味の視野も広がったと感じました。

私たちは先輩方にスペースをお借りして、模造紙2枚を使って発表することになりました。複数の人たちと一丸となって作業に取り組むことは、大学に入ってからあまり機会は無かったと思います。作業する中で意見を言い合うことも、良い経験であり、良い機会を持てたと思います。

フェスタ当日では、短い時間での参加となりましたが、私たちのテーマに興味を持ってくれた方々もいらっしゃり、質問してきてくれる方もいらっしゃいました。残念ながら、不十分な説明しかできませんでしたが、いかに勉強不足であったか解かる良い機会だったと思います。

この分野の知識が無い人にも理解して頂けるような、または知識がある人でも納得して頂けるような説明が出来るようになるためには、自分ももっと知識を深めなくてはいけないと実感しました。

今回のフェスタに参加したことによって、新たな発見もありましたし、新たな課題もみつかりました。また準備日から最後の片付けまでの間、あまり先輩方と一緒に取り組む機会も無か

ったため、ゼミの一員として関わったことは、とても良い経験となりました。しかし、発表は不完全な出来であったと思います。反省点も多くありました。これらの反省点は今回のフェスタに限らず、次の研究発表に大きく関わる問題でもあります。この問題をいかに次に活かせることができるか。次への目標も見つかりました。今回のフェスタは確かに良い経験でした。「勉強尽くし」と言ったように、多くのことを学べたと思います。ここで見つけた課題を忘れるずに、少しずつでも進めるよう頑張りたいと思います。

